

令和7年度
埼玉県多面的機能支援推進会議
優良事例表彰 活動組織の概要

1	大針環境保全会（伊奈町）	1
2	伊佐沼周辺田園環境保全組合（川越市）	4
3	能增多面的機能組合（小川町）	6
4	大塚地域資源保全協議会（秩父市）	9
5	小浜環境保全協議会（神川町）	11
6	佐谷田・太井地域保全活動組織（熊谷市）	13
7	飯積区水と緑を守る会（加須市）	15
8	金崎区環境整備会（春日部市）	17

地域で担う大針田んぼの環境保全

(組織名) 大針環境保全会 (市町村) 伊奈町

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
26.5ha	ha	5.8km	km	km	箇所	3.5km

2 活動組織の構成員

大針農家組合

構成人数 82人 (うち農家 82人)

3 地域の様子と取組内容

本地域は伊奈町の東部に位置し、綾瀬川に隣接する田んぼが広がる水田地帯で、見沼代用水から取水をしています。地区内の農業従事者の高齢化、後継者不足により地域の共同活動が困難となり、農地・農業用水路等の地域資源の維持管理に対する、担い手の負担が増大しています。

当保全会では、例年4月、5月、6月、7月及び9月に、草刈りや水路の泥上げなどを実施するなど、こまめな維持管理活動を行っております。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・水路パトロール	・年度活動計画	・水路の草刈、泥上げ
・異常気象発生時の点検	・研修参加（県開催の多面的関係講習）	・農道の路面維持

5 取組の効果及び今後の展望等

当保全会の活動は、平成28年から始まり、今年で10年目となります。来年度以降も活動を継続していきます。

当保全会では、例年4月、5月、6月、7月及び9月に、草刈りや水路の泥上げなどを実施し、こまめな維持管理活動を行っております。また通年にわたり、水路の不具合箇所がないかパトロールも行っていますので、水漏れなどの不具合が生じた際に、早期に発見することができています。

本交付金を活用することで、農地や水路の保全に意欲的に取り組んでおり、以前に比べ、泥上げ・草刈りなどに参加する人数も増えました。

高齢化は進んでいるものの、今後も草刈りや泥上げ等の維持管理活動を継続して行っています。さらに、知識や経験を継承できるよう後進の育成にも力を入れていきます。



水路浚い



草刈り



水路浚いやゴミ拾いなど

良好な景観を地元で育み、体験する伊佐沼地域

(組織名) 伊佐沼周辺田園環境保全組合 (市町村) 川越市

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
56. 95ha	6. 33ha	4. 3km	3. 9km	1. 8km	1 箇所	- km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 630人（農業者110人・非農業者520人）
- 主な構成団体 農事組合法人沼端、荒川右岸用排水土地改良区、伊佐沼自治会、二ノ関自治会、沼端自治会、鴨田第三自治会、伊佐沼の蓮を咲かそう会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、川越市の中心市街地の東側に隣接する水田地帯です。組織名となっている伊佐沼は農業用施設としてだけでなく、自然環境としても重要な資源であり、沼を中心とした水質浄化対策、環境対策に農家と地域住民が一体となって取り組んでおります。

農地維持活動として、毎年草刈りを水路で3回、伊佐沼で2回行っています。

資源向上活動の農村環境保全活動として、景観形成に取り組んでおります。具体的には農地を利用したヒマワリやレンゲの栽培を行っており、貴重な地域の交流の場ともなっています。

加えて、今年度より「外来種の駆除（生態系保全）」の活動を実施しており、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウの伊佐沼への定着防止やミシシッピアカミミガメの防除に努めています。特に、ミシシッピアカミミガメの防除活動では、取水時期にほぼ毎週行ったことによって、これまでにおおよそ260匹もの数を捕獲しました。

また、資源向上活動の啓発・普及の一環として、地元の小学校と連携した稲の栽培体験、生き物調査などを行っており、元気な声を響かせながら地域の子供達の環境教育にも貢献しています。

さらに、資源向上支払（長寿命化）の活動としては、素掘り水路からコンクリート水路への更新に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・農用地、水路、ため池の点検及び機能診断	・点検、機能診断結果を踏まえた活動計画策定 ・地域住民等との交流活動（農業まつりに参加し活動紹介・参加者募集）・学校教育等との連携（水稻、生き物調査など）	・畦畔・農用地法面・水路・ため池の草刈り ・水路の泥上げ・農用地等を活用した景観形成活動（レンゲ・ひまわり栽培）・施設等の定期的な巡回点検・清掃



■水稻栽培学習（稲刈り・脱穀）



■生き物調査



■ひまわりの栽培（開花時）



■レンゲ草の栽培（開花時）



■外来種（ミシシッピアカミガメ）の防除



■外来種（カエツルノゲイトウ）の防除

5 取組の効果及び今後の展望等

- ・組織名にもある伊佐沼は農業用用水施設として重要であり、本組織の活動は、そのための適正な管理に寄与しています。
 - ・小学校と連携した活動や非農家を含めた地域住民による清掃活動等は、農村環境に関心を持ってもらう良い機会となっています。
- 今後も地域の方々の理解がより深まるよう交流などの機会を持ち、農村環境の保全・向上に努めていきたいです。

みんなで守る、水と田んぼと農業

(組織名) 能增多面的機能組合 (市町村) 小川町

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
18.75 ha	1.75 ha	4.0 km	5.0 km	— km	3 箇所	3.7 km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 67人（農業者66人、非農業者1人）
- 主な構成団体 広町水利組合、宮原堰水利組合

3 地域の様子と取組内容

能増地域は小川町の北東部に位置し、水稻を中心とした水田農業が継続されている地域です。土地改良によりパイプラインや暗渠排水が整備されている一方、老朽化した水利施設の補修や維持管理の担い手不足が顕在化しており、地域農業の持続可能性が課題となっていました。

こうした背景から、平成26年度に広町・宮原堰の水利組合を中心に「能增多面的機能組合」を発足し、農地・水利施設の保全・長寿命化に向けた共同活動を開始しました。組合では、ポンプやパイプラインの点検・補修、ため池や用水路周辺の草刈りや支障木の伐採など、地域資源を守るための定期的な維持管理を継続的に実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検、機能診断	年度活動計画の策定	・ため池や用水路等の草刈 ・支障木や雑木の伐採 ・取水施設の補修



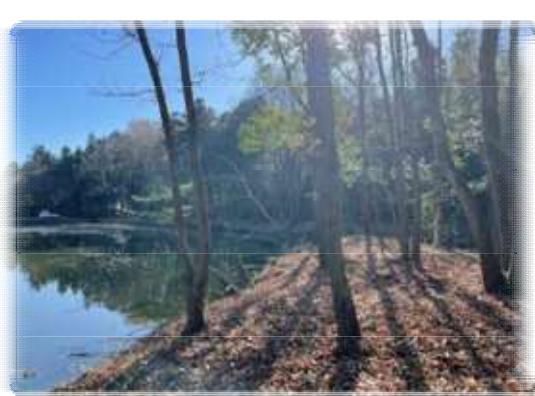
ポンプやパイプラインの点検



ため池や用水路周辺の草刈り



取水施設の補修



ため池周辺の支障木伐採

5 取組の効果及び今後の展望等

二つの水利組合を中心とした組織運営により、従来の水利組合の枠を超えた広域的な連携が実現し、より効率的な保全管理が可能となっています。また、活動を通じて関係者の協力体制が強化され、地域コミュニティのつながりが深まっています。

今後も活動を通じて、農地やため池、水利施設などの地域資源を守り続けていきたいです。

豊かな自然とちいさな観光の里

(組織名) 大塚地域資源保全協議会 (市町村) 秩父市

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	電気柵	農道
ha	11.51ha	1.6km	km	km	1.0km	1.8km

2 活動組織の構成員

荒川日野大塚地区、荒川日野町会、荒川中央町会等

構成人数 20人（うち農家 16人）

3 地域の様子と取組内容

本地域は荒川地区のほぼ中央に位置し、道の駅あらかわ周辺のいちご狩りやぶどう、りんごやいも掘り等の観光農園やそば畠の他、水資源にも恵まれハウス園芸等の生産も行っている。今後も農業振興を図るためにには、農用地や農業用施設および鳥獣害防止用広域電気防護柵等の適切な保全・維持管理が必要であり、より効率的な取り組みを行うため、令和3年度から組織を設立し活動を開始した。

農業者を含めた住民の高齢化や遊休農地化が進む中、地域で一体的な保全管理活動を行い、農村環境の維持保全に取り組んでいる。

また、行政と連携し広域電気防護柵の整備を行い、適切な保守管理活動を行うことで、サル・シカ等による農作物被害の減少に努めている。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農用地、農道、水路の点検	点検に基づき活動計画を策定	農用地周辺や農道の草刈り、水路の清掃や泥上げ、鳥獣害防護柵の保守管理



広域電気柵の保守管理

水路の清掃

地区の住民も参加

5 取組の効果及び今後の展望等

組織の設立により、計画的な維持活動を実施する体制が整った。また、大塚地域に農地を所有する農業者だけでなく、大塚地域の住民も共に活動を実施することで、農地および農業用施設を地域資源と捉え、適正な維持管理に対する意識がより高まっている。

また、当地域は観光の拠点となる道の駅あらかわや多種にわたる観光農園、宿泊施設等が立地していることから、今後も地域住民と一体となり、魅力ある農業および農村地域の保全を図っていく。

地域で取り組む農村環境保全

(組織名) 小浜環境保全協議会 (市町村) 神川町

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
42.48ha	1.18ha	—km	—km	4.1km	0箇所	2.0km



(水路の泥上げ)



(植栽景観形成)

2 活動組織の構成員

小浜地区自治会、小浜茶飲会、自衛消防団、新宿・小浜・貫井地区水利組合

3 地域の様子と取組内容

本地域は神川町の西部に位置し、一部の畠を除き、水田地域が大部分を占める区域です。区画整理事業実施から60年以上が経過し、用排水施設の老朽化が進んでおります。また、農業者の高齢化もあり施設の保全管理が課題となっていました。このような状況に直面し、当組織は農地・農業用水等の資源の保全管理活動の為、用排水施設等管理組合等の地域管理団体を母体として発足しました。

主な活動は農地や水路の草刈や泥上げ、水路の浚渫です。地域管理団体の小浜茶飲会と連携し、水路周辺では花の植栽等の景観形成活動にも力を入れております。

また、人力での作業が困難な箇所については、業者発注により倒木の撤去や水路の清掃を実施し、作業負担の軽減を図っております。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設の点検、機能診断	・活動スケジュールの策定 ・行政機関と連携 ・地域住民等との交流活動	・きめ細かな雑草対策 ・泥上げ（水路・側溝） ・農用地を利用した景観に配慮した作付け

5 取組の効果及び今後の展望等

農地・農業用水等の継続的な保全管理活動により、地域の営農環境や排水機能が向上し、地域住民の農村環境保全意識が向上しました。

また、地域管理団体の小浜茶飲会と協同で実施している花の植栽作業を6月と10月の年2回実施しており、用排水路周辺の景観形成に寄与しています。

構成員だけでなく非農家の方も交えた環境保全管理や景観形成活動を通じて、地域の課題を共有し、よりよい営農環境の実現に向けて意識向上を図ることができました。

作業を通じて昨今希薄になりつつある地域住民のコミュニケーションを活性化させ、より強固な地域コミュニティの形成に寄与するとともに、農村環境保全活動に対する意識向上につながっております。

活動を通した地域コミュニティの強化

(組織名) 佐谷田・太井地域保全活動組織 (市町村) 熊谷市

1 地域の資源

田	畠地	開水路	パイプライン	ため池	農道
65.49ha	8.86ha	42.8km	km	箇所	20.1km

2 活動組織の構成員

太井自治会、佐谷田東区自治会、佐谷田西区自治会、佐谷田南区自治会、
佐谷田北区自治会、戸出自治会、平戸自治会

3 地域の様子と取組内容

○ 地区

当地区は、JR 熊谷駅の約2km南南東に位置し、多くが大里用水土地改良区の受益地になっており、田を中心とした耕作を行っています。

農業者の高齢化や農村と都市の混在化等による農業者の減少に伴い、農業用施設の適切な維持管理が困難となってきていることから、本事業でそれらの適切な維持管理と地域コミュニティの強化を目的として取組みを開始しました。

○ 取組内容

農業用施設（農用地、水路、道路）の草刈り、泥上げ等の基礎的な活動を重点的に行っており、点検・機能診断に基づいた施設補修等の保全管理も実施しています。

地域の景観形成活動としてコスモスの植栽や、地域団体「ムサシトミヨを守る会」と連携した元荒川沿い遊歩道の防草シート貼りを実施しています。

普及・啓発活動では、くまがや農協佐久良支店や熊谷市内の産婦人科であるさめじまボンディングクリニックと連携し、プランターを使った農業体験を実施しています。稲作農家の減少や日本人の米離れの解消に向けたテイクアウト新米祭りも開催しており、組織の活動の周知に努めています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定 各種イベントの企画・参加	草刈り、泥上げ 植栽等の景観形成活動



水路の泥上げ



水路の草刈り



テイクアウト新米祭り



プランター農業体験

5 取組の効果及び今後の展望等

地域で様々な活動を実施することにより、農業用施設や地域環境の適切な保全管理が図られています。

普及活動においては、地域の他団体とも連携して、様々な活動を実施しています。プランターを使った農業体験では、くまがや農協佐久良支店の職員が指導を行っており、多くの非農業者が参加しました。子供たちも多く参加しており、農業に興味を持つもらう良い機会になっています。

これから先、地域の担い手不足が予想される中、未来の農業者に繋がることが期待できます。

今後も活動を継続し、農業用施設の保全はもちろんのこと、持続可能な農村環境づくりを目指します。

別紙様式

農地の保全と地域コミュニティ

(組織名) 飯積区水と緑を守る会 (市町村) 加須市

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
31.8ha	37.9ha	9.7km	km	km	箇所	8.7km

2 活動組織の構成員

◎構成団体

本村自治会・山越西自治会・山越東自治会・新屋敷自治会・中新田自治会・本村農家組合・山越西農家組合・山越東農家組合・新屋敷農家組合・中新田農家組合・埼玉県北川辺領土地改良区

◎構成員

合計 138 人 (うち農業者 108 人)

3 地域の様子と取組内容

飯積区は北川辺地域の西部に位置し、北から西にかけて旧合の川の堤防、南側を利根川の堤防に囲まれており、主に堤防沿いに住宅等が建ち並び、中央から東にかけて水田が広がっている。

また、隣接する群馬県板倉町から邑楽用水路が流れ込んでいる他、飯積用水路や、利根川堤防沿いに犬走堀などの大きな用排水路がある。

飯積区水と緑を守る会は5つの自治会で構成され、それぞれの自治会加入者が水と緑を守る会の活動を行っている。

会の活動は、全て自治会を通じて周知され、用排水路や農道等の草刈り、泥上げを実施する水路清掃活動や、ごみ拾いや農用地の草刈り、花苗の植栽を実施する美化推進活動を行っている。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none">・水路、農道、農用地の点検及び機能診断・除草作業	<ul style="list-style-type: none">・総会（年間活動計画の策定）	<ul style="list-style-type: none">・除草作業（年1回）・水路清掃活動（年2回）・美化推進活動（年3回）



除草作業兼点検等



水路清掃



美化推進活動



作業休憩中の談笑

5 取組の効果及び今後の展望等

水と緑を守る会の活動母体は自治会となっていることから、活動はその都度構成員全員が参加する体制をとっている。

平成 19 年から活動をしているが、年々自治会を抜ける世帯が増加傾向にあり活動に参加する人数が減少し会の活動が大変厳しいものになっている。

そのような現状の中で、数年前より一部の活動について、自治会未加入世帯に活動参加の呼びかけを始め、地区によってはその呼びかけの効果もあり、一緒に活動を行うようになってきた。

農家、非農家間、自治会加入世帯、未加入世帯間の繋がりが希薄化していく状況の中で、会の活動を通して地域の交流が形成されているほか、Uターン等で地元に戻ってくる若い世代が親の代わりに会の活動に参加することによって地域コミュニティが繋がり続けている。

また、草刈時には農家の方が機械を使用することで、暑い中での作業の省力化、作業時間の短縮を図り、活動に参加する方々の負担減少に努め参加しやすい環境を心がけている。

水と緑を守る会の水路清掃や美化推進活動により地域の農地の保全が保たれ、環境美化が図られている。今後も、自治会の未加入世帯、自治会を抜けた世帯に活動参加の声掛けを続け地域コミュニティを繋げていくことで、水と緑を守る会の活動を継続していき、地域の農地の保全、環境美化に取り組んでいく。

構成員が有機的に連携する精銳集団

(組織名) 金崎区環境整備会 (市町村) 春日部市

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
46.05ha	8.04ha	7.4km	0km	6.8km	0箇所	8.0km

2 活動組織の構成員

農業者 103 人、農業者以外個人 25 人、庄和ふる里を守る会、(株)ふるさと

3 地域の様子と取組内容

本地域は、春日部市の東部、中央部には国道 16 号が東西に走り、面積 14 ヘクタールの総合公園、レジデンシャルパーク SHOWA(庄和総合公園)を有する田園地帯です。

また、農業振興地域との境界付近に位置していることから、青地と白地が混在。

令和元年度の制度改正において白地へ対象農用地が拡大したのを機に活動を開始。

農地維持、資源向上(共同および長寿命化)全ての活動に取り組んでいます。



4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> 農用地・水路・農道の機能診断 	<ul style="list-style-type: none"> 景観形成計画、生活環境保全計画の策定 年度活動計画の策定 自主制作のスライドや動画を活用した自主研修 SNS を利用した情報発信や情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 農用地・水路・農道の保全管理及び軽微な補修 植栽等の景観形成活動 多面的機能の増進を図る活動（地域住民による直営施工、防災・減災力の強化） 全部直営施工による水路更新



自治会と共に催のコスモス祭り



水田の尻水口に設置した排水調整板



定期点検・補修
(砂利入れによる路面補修)



測量から施工まですべて直営施工

5 取組の効果及び今後の展望等

【取組の効果】

- ・時代に合わせた普及・啓発

フェイスブックによる活動の発信やLINEグループを使用しての活動組織内の情報共有。

- ・保全管理の省力化の推進

コンクリート水路への更新工事。

- ・コスモス祭りで地域コミュニティの醸成

景観形成で植栽したコスモスを活用し、自治会と共に防災訓練も同時開催。

【今後の展望】

- ・「田んぼダム」を推進

令和9年度までに対象農用地面積の50%を対象に水田の排水口に調整板を設置。

中川流域における洪水被害の軽減を図ることを目標としています。

- ・「共同活動サポート隊」の設立

建設事業経験者である活動組織の構成員からなるチームの設立。

活動区域内の共同活動支援体制の構築により、直営施工の充実と適正な運用を目指しています。